

2023年度

# 環境経営レポート

(対象期間:2023年4月1日～2024年3月31日)



## 株式会社 友輝建設



発行日：2024年5月20日

発行責任者：青谷 文恵

# 1 取組対象組織・活動

## 事業者名及び代表者名

株式会社 友輝建設  
代表取締役 青谷康生

## 所在地

本社 〒520-1602 滋賀県高島市今津町桂816番地1

## 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先(電話番号等)

環境管理責任者：代表取締役 青谷 康生  
連絡先： TEL 0740-22-0668  
FAX 0740-22-3611  
Eアドレス： info@yuuki-kensetsu.jp

## 事業活動の内容(認証・登録範囲)

土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、水道施設工事業

## 事業の規模

売上高 460 百万円/年 (2023年度)  
工事件数 30 件/年  
全従業員 11 名 (2023年4月1日現在)

当社の事業年度(2023年度)は2023年7月1日から2024年6月30日です。

当社の環境取組年度(2023年度)は2023年4月1日から2024年3月31日です。

## 事業組織

面積:m <sup>2</sup>	本社
新事務所床面積	246.7
旧事務所床面積	63.6
倉庫床面積	112.8
駐車場面積	400.0
資機材置場面積	175.0
従業員数 名	11

新事務所は、同一敷地に2023年4月に移転しました。旧事務所は、資材置場として活用します。

## 過去3年間の環境負荷の実績及び売上高

	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素の排出量	Kg-CO <sub>2</sub>	181,671	152,429	196,630
二酸化炭素の排出量百万円当り原単位	Kg-CO <sub>2</sub> /百万円	428	654	427
廃棄物の排出量	t	2,298	123	376
水の使用量、排水量	m <sup>3</sup>	80	79	74
売上高	百万円	233	233	460

\* 購入電力の調整後排出係数は、関西電力の2020年度の0.351kg-CO<sub>2</sub>/kWhを2022年から2024年の3ヶ年間固定します。

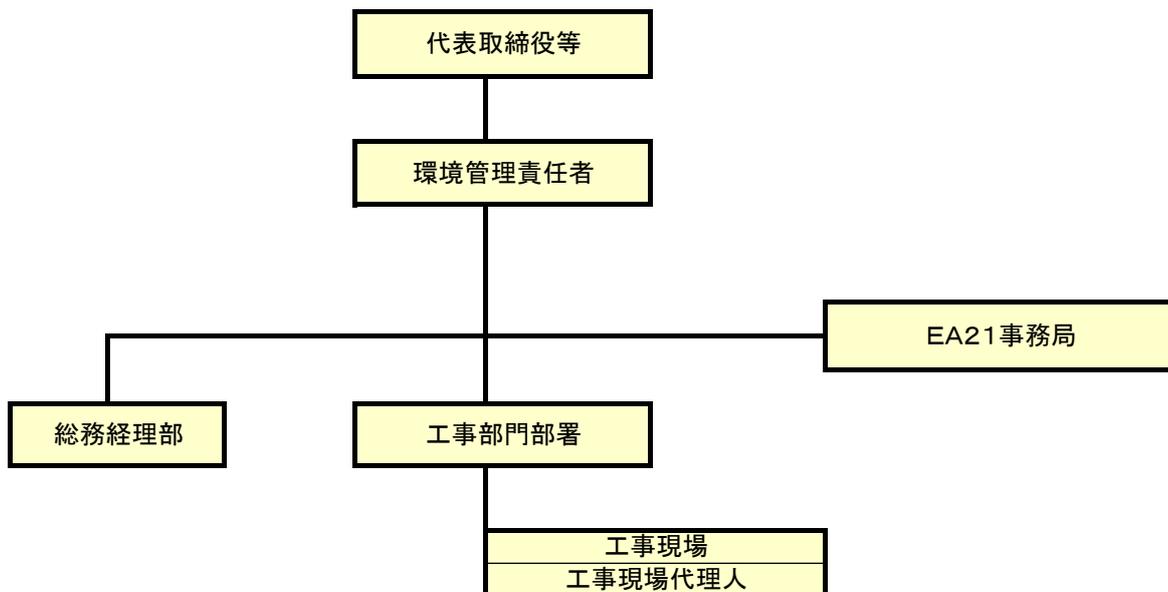
\* LPG使用量は上表には含めませんが微量(5Kg 15Kg-CO<sub>2</sub>)の為目標に掲げていません。

\* 化学物質の使用はありません。

## 2 環境経営組織図及び役割、責任及び権限表

作成日：2023年4月1日

### EA21実施体制組織図



※全従業員は、当社に構築された環境経営システムを理解し、策定された環境経営方針の下、環境経営目標の達成に向けて、環境経営計画に基づき、一致協力して環境取組を行う。

### 役割、責任及び権限一覧

担当	内容
代表取締役	①環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。
	②環境経営システムの構築・運用・管理に必要な資源を用意する。 (資源には、人材、設備、費用、時間、専門的な技能、技術を含む。)
	③環境管理責任者を任命する。
	④環境経営方針の策定・見直し及び従業員への周知を行なう。
	⑤代表者による全体の評価と見直し・指示を実施する。
	⑥環境経営レポートを承認・許可する
環境管理責任者	①環境経営システムを構築し、実施し、管理する。
	②作成された環境への負荷及び取組の自己チェックを確認し承認する。
	③法規制等の遵守状況をチェックする。
	④環境経営方針及び自己チェック等に基づき環境経営目標を設定し、作成された環境経営計画を確認し承認する。
	⑤環境活動の取組状況を確認し、環境経営目標の達成状況を評価する。
	⑥問題点の是正、予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行なう。
	⑦環境活動の取組結果を代表者へ報告する。
	⑧EA21に関する運用管理の体制を構築し、各責任者を任命する。
各部門長及び 工事現場代理人	①責任範囲の環境経営目標及び環境経営計画の実施とEA21事務局への達成状況の報告。
	②責任範囲の問題点の発見、是正、予防処置。
EA21事務局	①環境経営システム運営のすべての事務を行なう。
	②環境への負荷及び取組の自己チェックを作成し、環境管理責任者へ報告する。
	③「環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況チェックリスト」を作成し、環境管理責任者へ報告する。
	④環境経営計画並びに運用手順書を作成し、実施達成状況を集計し、環境管理責任者へ報告する。
	⑤文書及び記録の管理保管。
	⑥外部コミュニケーションの窓口。
	⑦内部コミュニケーションの運営管理。
	⑧従業員に対する教育訓練の実施。
	⑨特定された緊急事態に対する項目の手順書作成、テスト・訓練・記録。
	⑩環境経営レポートを作成する
全従業員	①環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	②決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

# 株式会社友輝建設

## 環境経営方針

### 環境理念

当社は、自然と人間社会とのバランスをとりながら、工事に応じた施工と管理に努め、環境保全に配慮した行動をします。

### 行動指針

当社は、滋賀県を中心とした土木、建築、舗装工事の事業を行っています。『自然を大切に』をテーマに環境への影響を理解し、意識の向上を高め、社員と協力し、エコアクション21経営環境システムを構築運用し、継続的改善・汚染の予防を図るとともに、以下の事項に取り組めます。

1. 環境関連法規等を遵守します。
2. 当社は、次の環境活動を計画的に取り組み実施します。
  - ① 事務所や現場での電気使用量及び重機車両の燃料使用量を減し、CO<sub>2</sub>の排出量を削減します。
  - ② 事業活動の廃棄に関して、分別を実施することにより、建設リサイクルを推進します。
  - ③ 事務所や現場での節水に努め、濁水防止と水の使用量(排水量)を削減します。
  - ④ 環境に配慮した建設工事を推進します。
  - ⑤ 環境活動として地域清掃活動(エコフォスター)に参加し社会貢献を推進します。
3. この環境経営方針は全従業員一丸となって周知、徹底します。

制定日 : 2011年10月1日

改訂日 : 2012年 7月1日

改訂日 : 2019年 4月1日

株式会社 友輝建設

代表取締役 青谷 康生

### 3 環境経営目標とその実績

エコアクション21は2012年9月より取り組んでいます。2021年度の実績を自己チェックにより把握し、その結果を基準値として、2023年度から2025年度までの目標を下記の通り設定し、環境活動に取り組んでいます。尚、このレポートでは、2023年4月1日から2024年3月31日までの運用実績について取りまとめました。

環境経営方針	取組項目	年度 単位	2021年 基準年	2023年度 取組年 2023年4月1日～2024年3月31日		次年度	中長期
			(実績)	(目標)	(実績)	2024年 (目標)	2025年 (目標)
事務所や現場での電気使用量及び重機車両の燃料使用量を減し、CO <sub>2</sub> の排出量を削減します。	電力使用量の削減 (kWh) 事務所	目標・基準年比達成率%	100%	98%	54.8%	96%	96%
		使用量	14,062	13,781	7,705	13,500	13,500
		(kg-CO <sub>2</sub> )	4,936	4,837	2,704	4,738	4,738
	電力使用量の削減 (kWh) 建設現場	目標・基準年比達成率%	100%	98%	61.4%	96%	96%
		使用量	12,240	11,995	7,512	11,750	11,750
		(kg-CO <sub>2</sub> )	4,296	4,210	2,637	4,124	4,124
	ガソリン使用量の削減 (単位:L) 事務所	目標・基準年比達成率%	100%	98%	30.9%	96%	96%
		使用量	9,771	9,575	3,022	9,380	9,380
		(kg-CO <sub>2</sub> )	22,668	22,214	7,012	21,761	21,761
	ガソリン使用量の削減 (単位:L) 建設現場	目標・基準年比達成率%	100%	98%	72.2%	96%	96%
		使用量	6,948	6,809	5,017	6,670	6,670
		(kg-CO <sub>2</sub> )	16,120	15,798	11,640	15,475	15,475
	軽油使用量の削減 (単位:L) 建設現場	目標・基準年比達成率%	100%	98%	115.6%	96%	96%
		使用量	57,631	56,479	66,634	55,326	55,326
		(kg-CO <sub>2</sub> )	148,689	145,715	171,915	142,742	142,742
灯油使用量の削減 (単位:L)	目標・基準年比達成率%	100%	98%	69.6%	96%	96%	
	使用量	408	400	284	392	392	
	(kg-CO <sub>2</sub> )	1,016	996	707	975	975	
二酸化炭素排出量の削減		目標・基準年比達成率%	100%	98%	99.4%	96%	96%
		(kg-CO <sub>2</sub> )	197,725	193,770	196,615	189,816	189,816
二酸化炭素排出量削減百万円当り原単位		目標・基準年比達成率%	100%	97%	99.8%	96%	95%
		CO <sub>2</sub> /百万円	428	416	427	411	407
事業活動の廃棄に関して、分別を実施することにより、建設リサイクルを推進します。	分別及びリサイクルの推進 (単位:%) 建設現場	目標取組年比達成率%	-	-	102.6%	-	-
		(リサイクル率%)	98.0%	96%	98.5%	96%	96%
事務所や現場での節水に努め、濁水防止と水の使用量(排水量)を削減します。	事業所使用水の節水 (単位:m <sup>3</sup> )	目標・基準年比達成率%	100%	98%	92.5%	96%	96%
		(使用量m <sup>3</sup> )	80	78.4	74.0	76.8	76.8
	濁水防止の100%監視 (単位:%) 建設現場	目標取組年比達成率%	-	-	100%	-	-
		(監視率%)	100%	100%	100%	100%	100%
環境に配慮した建設工事を推進します。	環境に配慮した重機車両使用100% 建設現場 (単位:%)	目標取組年比達成率%	-	-	100%	-	-
		(使用率%)	100%	100%	100%	100%	100%
環境活動として地域清掃活動(エコフォスター)に参加し社会貢献を推進します。	地域の美化活動に参加する。 (単位:回/年)	目標取組年比達成率%	-	-	100%	-	-
		(参加回数)	12	12	12	12	12

#### 目標の説明や補足事項

- 1 購入電力の調整後排出係数は、関西電力の2020年度の0.351kg-CO<sub>2</sub>/kWhを2022年から2024年の3ヶ年間固定します。
- 2 廃棄物排出量は事業活動からの廃棄物に対する総排出量で管理し、廃棄物の性状等を勘案して建設リサイクル率98%に取組みます。
- 3 水使用量については、事務所敷地内における水使用量の削減について実施します。また建設現場からの汚水・濁水防止監視を実施します。
- 4 環境配慮施工では、低騒音・低振動型重機、排ガス規制適合車等の環境配慮車輛を使用します。
- 5 社会貢献活動は淡海エコフォスター制度に参加し実施します。
- 6 LPG使用量は微量(8kg-23kg-CO<sub>2</sub>)の為目標に掲げない、また化学物質の取扱いは無いので、目標に掲げません。
- 7 上記の目標のほか、作業場の環境及び品質安全向上のために3S活動(整理、整頓、清掃)に取組みます。

#### 4 環境経営計画

環境経営方針	取組項目	環境経営計画の内容	責任部門・担当者
事務所や現場での電気使用量及び重機車両の燃料使用量を減し、CO <sub>2</sub> の排出量を削減します。	電力使用量の削減 (kWh) 事務所	① 不用時の消灯 ② パソコン・OA機器などの省エネモードや不要時の電源オフ ③ エアコンの温度管理 (夏季28℃±1℃)	事務部
	電力使用量の削減 (kWh) 建設現場		工事部
	ガソリン使用量の削減 (単位:L) 事務所	① 不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認 ② 暖機運転・アイドリングストップ ③ エコ運転 ④ 重機の効率的な稼働	工事部
	ガソリン使用量の削減 (単位:L) 建設現場		
	軽油使用量の削減 (単位:L) 建設現場		
灯油使用量の削減 (単位:L)	① 使用するときには点火し、使用しない時は消す	事務部	
事業活動の廃棄に関して、分別を実施することにより、建設リサイクルを推進します。	分別及びリサイクルの推進 (単位:%) 建設現場	廃棄物 ① 建設現場からの廃棄物はリサイクルを推進する。 ② 無駄な資機材を購入しない。 ③ 使用済みコピー用紙を再利用する。	工事部
事務所や現場での節水に努め、濁水防止と水の使用量(排水量)を削減します。	事業所使用水の節水 (単位:m <sup>3</sup> )	① 洗車の水使用量を減らす。 ② 水を流しながらの洗い物はしない。 ③ 建設現場の濁水を監視する。	事務部
	濁水防止の100%監視 (単位:%) 建設現場		工事部
環境に配慮した建設工事を推進します。	環境に配慮した重機車両使用100% 建設現場 (単位:%)	① 環境に配慮した建設重機、車輛を使用する。	工事部
環境活動として地域清掃活動(エコフオスター)に参加し社会貢献を推進します。	地域の美化活動に参加する。 (単位:回/年)	① 淡海エコフオスター活動に参加する。	工事部

#### 取組の紹介

- 1 淡海エコフオスター活動とは滋賀県と協定を締結して、地域の清掃活動をボランティアで行う活動です。
- 2 高島市主催の地域環境美化活動である「ごみゼロ大作戦」に積極的に参加する。

## 5 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

評価：○達成 △基準値105%以内達成 ×未達成

環境経営方針	取組項目	年度	2023年度 取組年 2023年4月1日～2024年3月31日		評価	取組の評価	担当責任者
			(目標)	(実績)			
事務所や現場での電気使用量及び重機車両の燃料使用量を減し、CO <sub>2</sub> の排出量を削減します。	電力使用量の削減 (kWh) 事務所	目標・基準年比達成率%	98%	54.8%	○	新事務所になりLED電灯や、断熱効果が上がリエアコン使用の頻度も大幅に減少し節電に取り組めた	事務部
		使用量	13,781	7,705			
		(kg-CO <sub>2</sub> )	4,837	2,704			
	電力使用量の削減 (kWh) 建設現場	目標・基準年比達成率%	98%	61.4%	○	前年度に続き現場での仮設ポンプ排水による電力の使用が多い月があったがその他は目標を達成できた	
		使用量	11,995	7,512			
		(kg-CO <sub>2</sub> )	4,210	2,637			
	ガソリン使用量の削減 (単位：L) 事務所	目標・基準年比達成率%	98%	30.9%	○	エコドライブを実施して削減に取り組んでいるので、今後もエコドライブ等で無駄な使用削減に取り組む、また現場への乗合を励行していく	
使用量		9,575	3,022				
ガソリン使用量の削減 (単位：L) 建設現場	目標・基準年比達成率%	98%	72.2%	○			
	使用量	6,809	5,017				
軽油使用量の削減 (単位：L) 建設現場	目標・基準年比達成率%	98%	115.6%	×	現場での重機使用頻度により月によるばらつきが発生した。重機のアイドリングストップ等による抑制に取り組みたい	工事部	
	使用量	56,479	66,634				
灯油使用量の削減 (単位：L)	目標・基準年比達成率%	98%	69.6%	○	事務所また現場で必要時以外のストップ消灯に取り組めた		
	使用量	400	284				
二酸化炭素排出量の削減	目標・基準年比達成率%	98%	99.4%	○	売上高が増加したが電気、ガソリンの使用が大幅に抑制できた。		
	(kg-CO <sub>2</sub> )	193,770	196,615				
二酸化炭素排出量削減百万円当り原単位	目標・基準年比達成率%	97%	99.8%	○	昨年は152%と目標を大きく超過したが、今年は売上高が増加し、重機の稼働も増加したが目標に大きく近づけた		
	CO <sub>2</sub> /百万円	416	427				
事業活動の廃棄に関して、分別を実施することにより、建設リサイクルを推進します。	分別及びリサイクルの推進 (単位：%) 建設現場	目標取組年比達成率%	-	102.62%	○	分別してリサイクルできた	工事部
		(リサイクル率%)	96%	98.51%			
事務所や現場での節水に努め、濁水防止と水の使用量(排水量)を削減します。	事業所使用水の節水 (単位：m <sup>3</sup> )	目標・基準年比達成率%	98%	92.5%	○	例年と変わらない使用量であるため、もう少し節水に取り組みたい	事務部
		(使用量m <sup>3</sup> )	78.4	74.0			
環境に配慮した建設現場を推進します。	環境に配慮した重機車両使用100%建設現場 (単位：%)	目標取組年比達成率%	-	100%	○	対象となる建設現場で環境配慮重機を100%使用した	工事部
		(使用率%)	100%	100%			
環境活動として地域清掃活動(エコフオスター)に参加し社会貢献を推進します。	地域の美化活動に参加する。(単位：回/年)	目標取組年比達成率%	-	100%	○	計画通り地域清掃活動に参加することができた	工事部
		(参加回数)	12	12			

### 今年度の主な環境経営計画の実績・取組結果の内容

- 1 二酸化炭素排出量削減取り組みでは、アイドリングストップやエコドライブ、重機の効率的な稼働等の目標達成手段を実施した
- 2 廃棄物は分別を実施して削減及び建設リサイクルに努めた
- 3 水使用量の削減では車輦の洗車の使用量削減や流し放しで使用しないように努めた。また建設現場では濁水防止監視を実施した
- 4 環境配慮施工では低騒音・低振動型重機や排ガス規制適合車を使用し、環境配慮施工に努めた
- 5 環境美化活動は計画通り美化活動(淡海エコフオスター活動)に参加した

### 次年度の主な環境経営計画の内容

- 1 二酸化炭素排出量削減取り組みでは、アイドリングストップやエコドライブ、重機の効率的な稼働等の目標達成手段を実施する
- 2 廃棄物は分別を実施して削減及び建設リサイクル率96%に努める
- 3 水使用量の削減では車輦の洗車の使用量削減や流し放しで使用しないように努める。また建設現場では濁水防止監視を実施する
- 4 環境配慮施工では低騒音・低振動型重機や排ガス規制適合車を使用し、環境配慮施工に努める
- 5 環境美化活動は計画通り淡海エコフオスター活動に参加する
- 6 環境目標の達成取組みと共に、作業場の環境及び品質安全向上のために3S活動(整理、整頓、清掃)に取り組む、意識を持って全員で実践する

## 6 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反、訴訟はありません。又、過去3年間に関係当局からの訴訟、違反等の指摘はありません。

### 適用される法規制等と遵守状況

法規制等の名称	該当する要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出	遵守
建設リサイクル法	建設工事に係る資材の再資源化等の管理	遵守
大気汚染防止法	建築物等の解体・補修時には石棉含有建材の事前調査	遵守
水質汚濁防止法	事故時の措置	遵守
自動車リサイクル法	廃自動車のリサイクル券	遵守
家電リサイクル法	家電リサイクル券	遵守
騒音規制法	対象特定施設の届出、規制値の遵守	遵守
振動規制法	対象特定建設作業の届出、規制値の遵守	遵守
消防法	対象危険物保管の届出	遵守
フロン排出抑制法	第1種特定製品の定期点検、引渡し、点検記録の保存、解体時の第一種特定製品の有無の事前確認、発注者に書面（事前確認書）を交付	遵守
地域ごみ出しルール	一般廃棄物の分別、収集、排出	遵守

注：適用される法規制等と遵守状況は、環境関連法規等の遵守状況のチェック結果に基づき記載します。

## 7 代表者による全体の評価と見直し・指示

全体の目標値をかなり達成することが出来た、昨年からの工事も含め売上高もかなり増加したが電力や灯油、事務所でのガソリン消費を減らすことができた。現場の工事種類により重機の稼働が増加するのはあたりまえである、現場での工事車両、重機の無駄なアイドリングの使用をなくし、特に燃料の使用量減少に務める。常に地域の防災を担っている建設業者として社会貢献できるかを考えて事業活動を行っていく。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/>	変更なし
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/>	変更なし
実施体制他	<input checked="" type="checkbox"/>	変更なし

## 工事実績

復旧治山工事（鶴川）



百瀬川補助通常砂防工事



市道大塚線道路改良工事



# 人と社会と未来のために今、できることを

わたしたちが人のために自然のために取り組んでいる環境活動、社会貢献

## エコアクション21



エコアクション21は、全ての事業者が、環境への取り組みを効果的、効率的に行うことを目的に、環境に取り組む仕組みを作り、取り組みを行い、それらを継続的に改善し、その結果を社会に公表するための方法について、環境省が策定したガイドラインです。環境省のガイドラインに基づき、第三者機関の認証を受けることで、社会的な信頼を得ることができます。また、環境活動レポートを作成し、外部に公表することにより、取引先や消費者等からの信頼性が向上します。これは、企業の社会的責任（CSR：Corporate Social Responsibility）の一環にもなります。

### 取組への教育実施



### 緊急時の訓練実施



## 淡海エコフオスター

<http://www.pref.shiga.lg.jp/d/haikibutsu/ecofoster/>

滋賀県が管理する公共の場所の美化および保全のため、県民、事業者等が当該場所を愛情と責任を持ってボランティアで美化清掃する淡海エコフオスター制度を創設し、環境美化に対する県民等の意識の高揚を図るとともに、ごみの散乱を防止し、県民等と県が一体となった地域活動を推進することを目的とする。

### エコフオスターによる除草



### 道路清掃



## その他、社会貢献

### 災害支援

平成25年9月、台風18号による国道367号線の被害、通行止め



応急復旧



通行止め解除、開通

### 防災訓練への参加



### 地元小学校のグラウンド整備



### びわ湖の日環境美化活動

